



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社 創健社
コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,412	△1.1	8	△65.5	12	△55.3	9	△51.1
2019年3月期第3四半期	3,450	△1.3	25	—	28	—	20	—

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 11百万円 (49.0%) 2019年3月期第3四半期 7百万円 (△25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2020年3月期第3四半期	14.21	—
2019年3月期第3四半期	29.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
2020年3月期第3四半期	3,013		1,005		33.4	1,436.74
2019年3月期	2,894		1,000		34.6	1,429.83

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 1,005百万円 2019年3月期 1,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭				
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,600	1.2	20	△15.1	22	△16.1	12	△20.1	17.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	705,500 株	2019年3月期	705,500 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,715 株	2019年3月期	5,715 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	699,785 株	2019年3月期3Q	699,785 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、政府・日銀による継続的な経済対策や金融政策の効果から企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復がみられる一方、米中の貿易摩擦に加え日韓関係の悪化など、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、消費税引き上げによる消費マインドの停滞、天候不順や相次ぐ自然災害による原材料の高騰、人手不足を背景とする物流費の上昇などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、これまでの経験を基により改善に努め、「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（2017年4月1日から2020年3月31日まで）を作成しました。その最終年度となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全と、オーガニック市場への関心について大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、当社グループブランド商品のファン作り注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。また、これまでに蓄積した多くのデータをさらに詳細に分析を行い、今後当社グループブランドの市場拡大を図るために営業力・商品力をより一層強化してまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高の主な増減につきましては、「油脂・乳製品」が、マーガリン等の売上減があったものの、えごま油等の売上増により前年同四半期比29百万円増（6.1%増）の5億17百万円となりました。しかしながら、「調味料」が、マヨネーズ等の売上増があったものの、液体だし等の売上減により前年同四半期比24百万円減（2.3%減）の10億55百万円、「乾物・雑穀」が、タピオカ粉末等の売上増があったものの、有機国内産小麦粉等の原料不足による売上減により前年同四半期比15百万円減（6.4%減）の2億26百万円、「嗜好品・飲料」が、メイシーシリーズ（お菓子）等の売上増があったものの、ナッツ類等の売上減により前年同四半期比10百万円減（1.7%減）の5億93百万円、「その他」が、洗濯用品等の売上増があったものの、ひざ掛け毛布等の売上減により前年同四半期比7百万円減（7.6%減）の91百万円、「栄養補助食品」が、くま笹エキス等の売上増があったものの、ルイボス茶等の売上減により前年同四半期比4百万円減（3.6%減）の1億31百万円、「副食品」が、有機トマト缶等の売上増があったものの、さば缶詰等の売上減により前年同四半期比4百万円減（0.6%減）の7億96百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、34億12百万円（前年同四半期比37百万円減、1.1%減）となり、売上総利益率25.3%と前年同四半期比0.1ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は8億55百万円（前年同四半期比3百万円増、0.4%増）となり、営業損益につきましては、営業利益8百万円（前年同四半期比16百万円減、65.5%減）となり、経常損益につきましては、経常利益12百万円（前年同四半期比15百万円減、55.3%減）という結果にて終了しました。また親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円（前年同四半期比10百万円減、51.1%減）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第3四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	487,587	14.1	517,349	15.2	6.1%増	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調味料	1,079,837	31.3	1,055,434	30.9	2.3%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	603,988	17.5	593,665	17.4	1.7%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	242,034	7.0	226,492	6.6	6.4%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび・タピオカ粉末
副食品	801,539	23.2	796,950	23.4	0.6%減	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	136,192	4.0	131,230	3.8	3.6%減	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ミドリムシ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・基石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)・くま笹エキス
その他	99,218	2.9	91,701	2.7	7.6%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合計	3,450,397	100.0	3,412,825	100.0	1.1%減	—

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	344,454	13.5	401,097	15.5	16.4%増
調味料	814,966	31.9	791,692	30.7	2.9%減
嗜好品・飲料	471,362	18.4	483,730	18.7	2.6%増
乾物・雑穀	201,395	7.9	188,641	7.3	6.3%減
副食品	542,354	21.2	541,185	21.0	0.2%減
栄養補助食品	93,959	3.7	92,472	3.6	1.6%減
その他	87,851	3.4	82,195	3.2	6.4%減
合計	2,556,345	100.0	2,581,016	100.0	1.0%増

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円の増加となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億27百万円減少があったものの、「受取手形及び売掛金」の1億69百万円増加及び「商品及び製品」の52百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9百万円の増加となりました。この主な要因は、「有形固定資産その他」の5百万円増加及び「無形固定資産その他」の2百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億19百万円増加し、30億13百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億85百万円の増加となりました。この主な要因は、「賞与引当金」の14百万円減少などがあったものの、「支払手形及び買掛金」の2億4百万円増加などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて70百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の68百万円減少及び「リース債務」の3百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億14百万円増加し、20億8百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円の増加となりました。この主な要因は、「利益剰余金」の2百万円増加（親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円の計上及び配当金の総額6百万円）などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果13百万円、投資活動の結果27百万円及び財務活動の結果85百万円を使用し、当第3四半期連結会計期間末には9億71百万円（前年同四半期比1億59百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、仕入債務の増加額2億7百万円などがあったものの、売上債権の増加額1億69百万円及びたな卸資産の増加額52百万円などにより、使用した資金は13百万円（前年同四半期は19百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の解約による収入11百万円などがあったものの、有形固定資産の取得による支出21百万円及び保険積立金の積立による支出13百万円などにより、使用した資金は27百万円（前年同四半期比0百万円増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入50百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1億20百万円及びリース債務の返済による支出8百万円などにより、使用した資金は85百万円（前年同四半期は39百万円の獲得）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（2019年5月17日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,332,632	1,204,867
受取手形及び売掛金	762,385	931,971
商品及び製品	244,982	297,185
仕掛品	134	64
原材料及び貯蔵品	27,186	27,141
その他	19,299	33,864
貸倒引当金	△1,953	△471
流動資産合計	2,384,666	2,494,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	301,450	305,233
減価償却累計額	△245,439	△249,035
建物及び構築物(純額)	56,010	56,197
土地	88,371	88,371
リース資産	55,682	60,878
減価償却累計額	△19,718	△28,511
リース資産(純額)	35,963	32,366
建設仮勘定	306	1,054
その他	179,787	190,218
減価償却累計額	△156,978	△162,031
その他(純額)	22,809	28,186
有形固定資産合計	203,461	206,176
無形固定資産		
その他	7,061	10,028
無形固定資産合計	7,061	10,028
投資その他の資産		
投資有価証券	77,505	80,224
保険積立金	188,756	190,675
その他	34,373	33,422
貸倒引当金	△1,803	△1,679
投資その他の資産合計	298,831	302,643
固定資産合計	509,355	518,848
資産合計	2,894,022	3,013,471

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	554,943	759,796
短期借入金	452,955	451,344
リース債務	10,283	9,635
未払法人税等	15,443	3,495
賞与引当金	19,533	4,713
その他	92,468	101,907
流動負債合計	1,145,628	1,330,891
固定負債		
長期借入金	389,948	321,100
リース債務	28,239	24,364
繰延税金負債	1,758	2,582
役員退職慰労引当金	102,600	105,500
退職給付に係る負債	183,920	180,779
その他	41,356	42,842
固定負債合計	747,823	677,168
負債合計	1,893,451	2,008,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	41,188	44,134
自己株式	△11,091	△11,091
株主資本合計	996,527	999,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,043	5,937
その他の包括利益累計額合計	4,043	5,937
純資産合計	1,000,570	1,005,411
負債純資産合計	2,894,022	3,013,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,450,397	3,412,825
売上原価	2,572,304	2,547,986
売上総利益	878,092	864,838
販売費及び一般管理費	※ 852,254	※ 855,930
営業利益	25,838	8,908
営業外収益		
受取利息	66	63
受取配当金	1,658	1,872
仕入割引	2,239	2,465
貸倒引当金戻入額	49	1,606
破損商品等賠償金	569	184
その他	1,395	1,256
営業外収益合計	5,978	7,448
営業外費用		
支払利息	3,324	3,627
その他	0	1
営業外費用合計	3,324	3,628
経常利益	28,492	12,728
特別利益		
固定資産売却益	4	—
保険解約返戻金	346	589
受取保険金	1,893	—
特別利益合計	2,244	589
特別損失		
固定資産除却損	0	0
保険解約損	108	1,259
特別損失合計	108	1,259
税金等調整前四半期純利益	30,628	12,058
法人税、住民税及び事業税	10,298	2,114
法人税等合計	10,298	2,114
四半期純利益	20,329	9,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,329	9,943

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	20,329	9,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,386	1,894
その他の包括利益合計	△12,386	1,894
四半期包括利益	7,943	11,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,943	11,838
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,628	12,058
減価償却費	17,160	20,312
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,700	2,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	△869	△14,820
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,429	△1,606
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,728	△3,141
受取利息及び受取配当金	△1,697	△1,921
仕入割引	△2,239	△2,465
支払利息	3,324	3,627
受取保険金	△1,893	—
固定資産除却損	0	0
保険解約損益(△は益)	△238	670
固定資産売却損益(△は益)	△4	—
売上債権の増減額(△は増加)	△313,192	△169,585
破産更生債権等の増減額(△は増加)	1,490	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,277	△52,088
差入保証金の増減額(△は増加)	5,972	△15
仕入債務の増減額(△は減少)	269,995	207,317
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,759	△9,426
その他	5,307	12,262
小計	28,224	4,079
利息及び配当金の受取額	1,439	1,630
利息の支払額	△3,165	△3,372
保険金の受取額	1,893	—
法人税等の支払額	△8,898	△16,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,493	△13,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△234,350	△234,350
定期預金の払戻による収入	234,800	234,800
有形固定資産の取得による支出	△18,634	△21,962
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形固定資産の取得による支出	△1,804	△4,305
貸付けによる支出	△300	—
貸付金の回収による収入	380	454
保険積立金の積立による支出	△13,741	△13,617
保険積立金の解約による収入	6,243	11,027
差入保証金の差入による支出	△19	△39
差入保証金の回収による収入	15	16
その他	△16	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,424	△27,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	—
長期借入れによる収入	240,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△146,832	△120,459
セール・アンド・リースバックによる収入	10,800	—
リース債務の返済による支出	△7,005	△8,210
配当金の支払額	△6,971	△6,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,990	△85,615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,059	△127,315
現金及び現金同等物の期首残高	1,098,921	1,099,032
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,130,981	※ 971,717

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
荷造運送・保管費	234,851千円	248,370千円
給料手当及び賞与	229,324	220,831
研究開発費	21,677	24,007
退職給付費用	14,404	14,650
役員退職慰労引当金繰入額	6,700	7,100
賞与引当金繰入額	8,909	4,513

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
現金及び預金勘定	1,364,131千円	1,204,867千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,150	△233,150
現金及び現金同等物	1,130,981	971,717